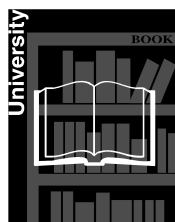


明日に吹く風

第23号



学校が始まって一ヶ月ほどたちました。新入生の皆さんは、授業に慣れましたか？

図書館では新たな試みとして、図書館館長による“館長の「完調日記」”が始まりました。茨キリホームページ内の図書館運営ページにて随時配信中です。ぜひ、そちらもご覧ください♪

* 図書館サポーターズ推薦図書 *

図書館サポーターズがオススメする本を3冊紹介します。こちらで紹介している本は、全て図書館に所蔵されているものです！皆さんもぜひ、一度手にとって読んでみて下さい。

● 「22歳からの国語力」 (810.4||Ka91) 【1F 閲覧室新書書架】

川辺秀美作 講談社現代新書

この本は編集者・コンサルタントの方が社会人になってから求められる国語力について書かれた本です。社会で求められるのはこれまで学校で習った「教養としての国語力」よりも「実践的な国語力」。

本書は社会で必要となるコミュニケーション力、「読む」「書く」「伝える」「編集する」方法についてどのようにしたら身につくかが具体的に示されています。簡単そうに見えて難しいテーマですが、表やまとめがあって読みやすいつくりになっています。新たな発見が沢山できると思います。

書籍のタイトルにもなっている「22歳」は大学三年生・大学四年生・就活生・新社会人というさまざまな立場にいる人たちに向けたものだそうです。22歳だけでなく、社会人になるまでに一度は読んでおきたい本です。(M.Y)



● 「なぜ？ どうして？ シリーズ」 (492.9 || I67) 【B1F 閲覧室和書】

医療情報科学研究所編 メディックメディア

今回紹介するのは、なぜ？ どうして？ という本です。名前だけ聞くと、何を書いてあるのか疑問に感じますよね。

この本は、疾患や看護について書かれています。でも、教科書のように難しくないのです。教科書苦手だな…と思っている学生さんにもオススメです。私も教科書は苦手ですが、このシリーズは苦手意識もなく読めました。女の子とネコの先生が会話しながら説明してくれているので、楽しく読めるし、とてもわかりやすいです。読んでいるうちに、疑問なんかも解決できちゃうこともあります。わからないことがわかると、やっぱり嬉しいですし、勉強が少しずつ楽しくなりますよ。

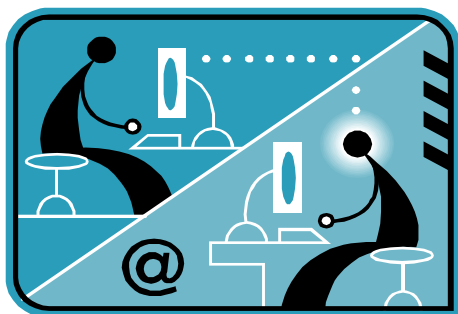
実習でも活用できるので、良かったら手に取ってみてください。(K.T)

● 「癒しのメールリスト：不器用なボクらの「生きなおしの物語」

(146.8 || Ta82)

【B1F 閲覧室和書】

田村 毅著 講談社



あなたにとっての家族・恋人・友人はどのような存在ですか？

今回紹介する、「癒しのメールリスト」は、携帯メールを読んでいるように、次々に読んでいけるような本です。自分の家族について、友人について、恋人について、様々な人が不安や不満をメールに託して発信し、みんなからのメールを受信する…。

自分の心の声を聞くことができる一冊です。少し重い感じもありますが、良かったら一度読んでみてください。(S.M)

* 図書館利用者インタビュー *

皆さんは、4月9日から図書館の開会時間(平日)が変更されたことをご存知でしょうか？開館時間が **9:00→8:30** に変更されたことにより、授業の前に本を借りたり、パソコンを利用することが可能になりました！ぜひご利用下さい。

4月9日の初めての利用者は、文化交流学科の新生でした。それでは、可愛らしいお二人のインタビューをのぞいてみましょう。

Q1、最初に図書館に来たときの印象は？



A、棚が低いので圧迫感がなく開放的だった。入ってすぐのところのパソコンがあるので、ちょっとした調べ物をするときに使いやすいと思った。(T)

A、広々としていて、きれいだと思った。雑誌も充実しているのが印象的だった。(K)

Q2、図書館で利用したことは？

A、インターネットでの調べ学習、基礎ゼミでの資料集め。(T)

A、DVD鑑賞、インターネットでの調べ学習。(K)

Q3、高校の図書館との違い。

A、なんと言っても、広さが違った。高校の図書館は読書用のテーブルが多かったが、大学図書館は高校より本の量が充実していると思う。(T)

A、漫画やAVコーナーがあり驚いた。広さも大きな違いだと思う。(K)

Q4、好きな本のジャンルは？

A、歴史系、ミステリーなど。(T)

A、エッセイ、推理小説など。(K)



お忙しい中、インタビューにご協力いただき、本当にありがとうございました★
これからもたくさん図書館を活用して下さいね。